

# 目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (行事編)
- 3 俳句 小林一茶 松尾芭蕉 森鷗外
- 4 あそびうた 一つたす一つひく
- 5 早口ことば 「かえるがかけ足でかける」
- 6 かぞえうた 1枚 1面 1足 (折り紙、碁盤、足袋)
- 7 今月の詩 東雲 尾形亀之助
- 8 たし算 2の段
- 9 ことわざ 一寸の虫にも五分の魂 命あつての物種  
言わぬが花 今泣いた鳥がもう笑う
- 10 かけ算 3の段
- 11 なぞなぞ
- 12 手あそびうた とうさんゆび どこです
- 13 今月のうた いろいろな県
- 14 四字熟語 一石二鳥 無我夢中 大同小異
- 15 おはなし ジャックと豆の木
- 16 童謡 こいのぼり
- 17 イメージトレーニング 森のお友だち (第2話 森のアスレチック)  
(イメージしてみましょう)
- 18 漢詩 清明
- 19 百人一首 藤原敏行朝臣 平兼盛 春道列樹 藤原道信朝臣
- 20 復習コーナー
- 21 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

# 俳句

ゆきとけて 村いっぱいの 子どもかな

こばしいっさ  
小林一茶



うめか香に のっとひの 出る 山路かな

まつお ばしょう  
松尾芭蕉



ばじょうじゅうり きなるちょうちょう ひとつ見し

もり 森  
おうがい 鷗外



《<sup>ひと</sup>一つたす<sup>ひと</sup>一つひく》

1つたす 1つひく

1に1つたしたら 2

1から1つひいて 0

5に1つたしたら 6

5から1つひいたら 4

10に1つたしたら 11

10から1つひいたら 9

1つたす 1つひく



# 今月の詩

しののめ  
東 雲

おがたかめのすけ  
尾形亀之助

しののめだ

<sup>たいよう</sup> <sup>ひ</sup>  
太陽に燈がついた

<sup>とお</sup> <sup>ほう</sup>  
遠くの方で

<sup>き</sup> <sup>かんしゃ</sup> <sup>そうじ</sup> <sup>はじ</sup>  
機関車の掃除が始まっている

そして <sup>せきたん</sup> <sup>しめ</sup>  
石炭がしっとり湿っているので

<sup>なに</sup> <sup>か</sup> <sup>ふ</sup> <sup>い</sup>  
何か火夫がぶつぶつ言っているのが

<sup>きこ</sup> <sup>き</sup>  
聞えるような気がする

そして

<sup>でんちゆう</sup> <sup>えんとつ</sup>  
電柱や煙突は

まだよくのびきってはいないだろう



いっすん おし ご ぶ たましい  
一寸の虫にも五分の魂

どんなに小さく弱いものにも意地があるから、あなどってはいけない。



いのち ものだね  
命あっての物種

なにごと いのち  
何事も命があってできる。命は、大切にしなければいけない。



い はな  
言わぬが花

はっきりと口に出して言わないほうが味わいがあること。



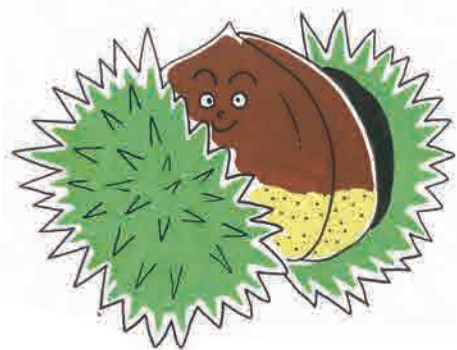
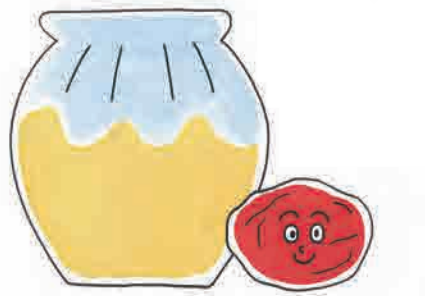
いまな からす わら  
今泣いた鳥がもう笑う

泣いていたと思ったら、すぐに機嫌を直して笑うこと。



# なぜなぜ

- 1 ほしはほしでも、<sup>た</sup>食べられるすっぱいほしはなあに？
- 2 <sup>ご</sup>五こでも<sup>いっ</sup>一こあるといっている<sup>た</sup>食べ<sup>もの</sup>物はなあに？
- 3 <sup>あたま</sup>さんかく頭に、<sup>あしじっぽん</sup>足十本。<sup>うみ</sup>海にいるすみをはく<sup>どうぶつ</sup>動物なあに？
- 4 とげだらけの<sup>ふく</sup>服を<sup>き</sup>着ている<sup>あき</sup>秋の<sup>た</sup>食べ<sup>もの</sup>物なあに？



# 手あそびうた

## 《とうさんゆび どこです》

① とうさんゆび どこです



りょう<sup>て</sup>手をかくす

② ここよ



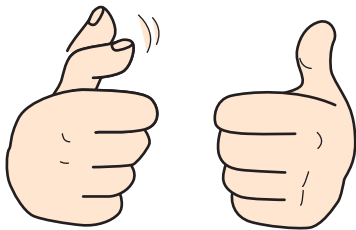
みぎ<sup>て</sup>手のおやゆびを  
だす

③ ここよ



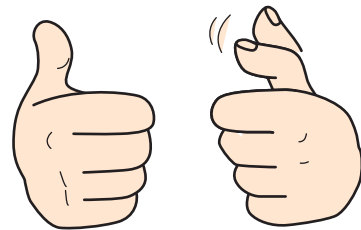
ひだり<sup>て</sup>手のおやゆびも  
だす

④ ごきげん いかが



みぎ<sup>て</sup>手のおやゆびを  
まげる

⑤ ありがと げんきです



ひだり<sup>て</sup>手のおやゆびを  
まげる

⑥ では また さよなら



みぎ<sup>て</sup>手ひだり<sup>て</sup>手の  
じゆん<sup>うし</sup>順で後ろにかくす

- ※ 二<sup>ばん</sup>番 かあさんゆび どこです ～
- 三<sup>ばん</sup>番 にいさんゆび どこです ～
- 四<sup>ばん</sup>番 ねえさんゆび どこです ～
- 五<sup>ばん</sup>番 あかちゃんゆび どこです ～

ゆびをかえてくりかえす

《いろいろな県》

海のない県 全部で八つ

栃木(県) 群馬(県) 埼玉(県) 山梨(県) 長野(県) 岐阜(県)

滋賀県 奈良県

まわりは全部他の県

山のつく県 全部で六つ

山形(県) 山梨(県) 山口(県) 岡山(県) 富山(県) 和歌山県

島のつく県 全部で五つ

福島(県) 徳島(県) 広島(県) 島根(県) 鹿児島県

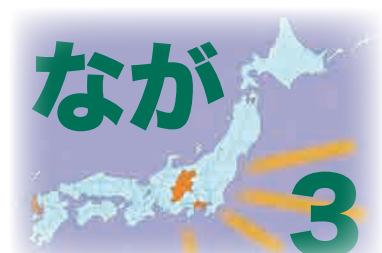
川のつく県 全部で三つ

石川(県) 神奈川(県) 香川県

「なが」のつく県 全部で三つ

長野(県) 長崎(県) 神奈川県

いろいろな県がありますね





いっせきに ちょう  
一石二鳥

ひと ひとつの こうどう 行動で ふた 二つの とく 得をすること。



む が む ちゆう  
無我夢中

なに 何かに ところ 心を うば 奪われ、 われ 我を わす 忘れる こと 事。

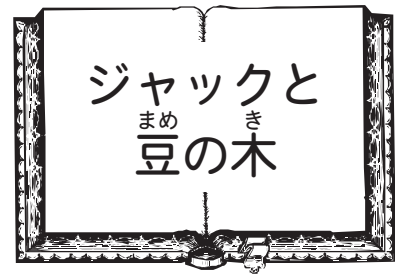


だいどうしょうい  
大同小異

たしょうちが 多少違いはあるけれど、ほとんど 同 じである こと。

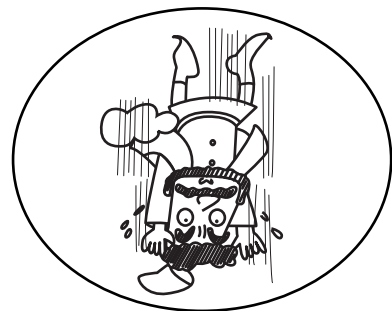
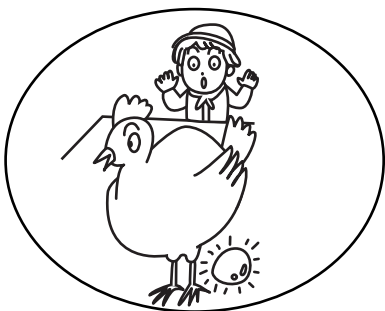


# おはなし



「ジャックと豆の木」は、ジャックという男の子が豆の木をつたって人食い鬼のところへ行くお話です。お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 ジャックは、牛と何を交換しましたか。
- 2 お母さんは、それを知ってどうしましたか。
- 3 ジャックが天から最初に持ってきたのは、何ですか。
- 4 二番目は何ですか。
- 5 三回目に人食い鬼の家に行ったとき、どこにかくれましたか。
- 6 金のたて琴は、何と言って大きな声をだしましたか。
- 7 人食い鬼が追いかけてきたとき、ジャックは豆のつるをどうしましたか。



清明

杜牧

清明の時節雨紛紛たり  
 路上の行人魂を断たんと欲す  
 借問す酒家何れの処にか有ると  
 牧童遥かに指さす杏花村



# 百人一首

明<sup>あ</sup>けぬれば  
暮<sup>く</sup>るものとは  
なほ<sup>お</sup>恨<sup>うら</sup>めしき  
知<sup>し</sup>りながら  
朝<sup>あさ</sup>ぼらけかな

(藤原道信朝臣)

山<sup>やま</sup>川<sup>がわ</sup>に  
風<sup>かぜ</sup>のかけたる  
流<sup>なが</sup>れもあへぬ  
しがらみは  
紅<sup>もみ</sup>葉<sup>じ</sup>なりけり

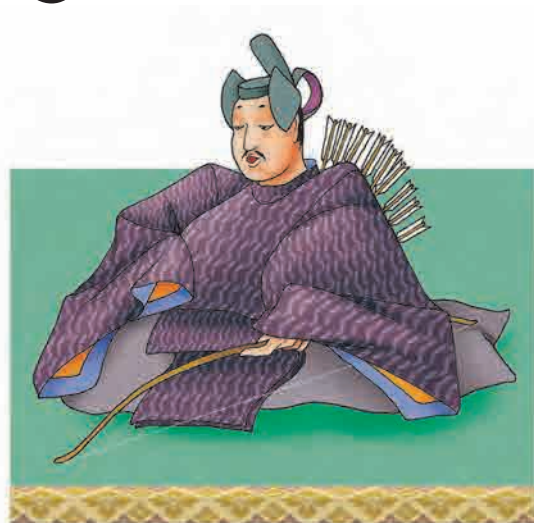
(春道列樹)

忍<sup>しの</sup>ぶれど  
色<sup>いろ</sup>に出<sup>い</sup>で  
物<sup>もの</sup>や思<sup>おも</sup>ふと  
人<sup>ひと</sup>の問<sup>と</sup>ふまで  
わが恋<sup>こい</sup>は

(平兼盛)

住<sup>す</sup>みの江<sup>え</sup>の  
岸<sup>きし</sup>に寄<sup>よ</sup>る波<sup>なみ</sup>  
夢<sup>ゆめ</sup>の通<sup>かよ</sup>ひ路<sup>じ</sup>  
よるさへや  
人<sup>ひと</sup>目<sup>め</sup>よくらむ

(藤原敏行朝臣)



藤原敏行朝臣